

2016年3月1日  
一般社団法人日本分析機器工業会  
一般社団法人日本科学機器協会

## 2016年「分析機器・科学機器遺産」の認定募集要綱

### <主旨>

一般社団法人日本分析機器工業会と一般社団法人日本科学機器協会は、日本で創出された分析技術/分析機器や科学機器及び、日本国民の生活・経済・教育・文化に貢献した分析技術/分析機器や科学機器を文化的遺産として後世に伝えることを目的に、「分析機器・科学機器遺産」の認定制度を導入し、継続的に実施します。分析機器・科学機器遺産候補を両団体の会員企業を始め広く一般からも募集を致します。

2016年9月7日から開催されるJASIS2016で認定式と展示（実物もしくはパネル展示）を行う予定です。

「分析機器・科学機器遺産」認定事業は2012年から毎年継続して実施して参りましたが、今回、第5回目の実施を機に一つの区切りと致します。

来年度の募集は予定しておりませんので、ぜひ奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

### <認定募集要綱>

- ・提出先：一般社団法人日本科学機器協会 事務局（担当：岡田）
- ・提出期日：2016年5月20日（金）まで
- ・提出方法：E-メール（okada@sia-tokyo.gr.jp）。尚、画像は2MBまで
- ・募集内容：
  - ① 募集数：1施設或いは1個人から最大2件まで  
応募資格者は、認定品の所有者であって、両団体の会員企業をはじめ、すべての産学官の機関及び個人とする。（認定品の所有者と製作者が異なる場合は製作者の同意を得てください。）
  - ② 集時に提供頂く重要な情報等：自薦の理由、製品等の画像及び必要なら補足資料  
別紙の応募用紙に、必要事項を記載し提出してください。  
尚、補足資料は自由様式とします。
  - ③ 認定数：15件から20件程度

④ 認定基準：

下記④-1 及び／または④-2 のいずれか一つ以上の基準を満たすもの  
原則として国内に機器が現存するもので

④-1 分析計測技術・機器（以下、分析機器と略）ならびに科学技術・機器（以下、科学機器と略）の発展史上重要で、次世代に継承していく大きな意義を持つもので、次の基準を満たすもの

- 1)対象とする分析機器又は科学機器の発展過程において重要な要素または段階を示すもの
- 2)国際的に見て分析機器又は科学機器の独自性を示すもの
- 3)新たな分析機器又は科学機器の創造に寄与したもの

④-2 国民生活、産業、経済、社会、文化の発展と在り方に顕著な影響を与えたもので、次の基準を満たすもの

- 1)国民生活の発展に顕著な役割を果たしたもの
- 2)日本の産業・経済の発展と国際的地位の向上に貢献のあったもの
- 3)社会、文化と科学技術及び機器の関わりで重要な貢献を示すもの

⑤ 申請資格者

原則として認定対象品の所有者とする。（申請に当って所有者が製作者でない場合には製作所と協議し了承いただくことを原則とする）

⑥ 認定対象の分類は原則、下記といたします。

⑥-1 使用後も保存されている機器又は収集されて保存されている機器

⑥-2 技術や機器に関連文書及び／又は試料類

⑦ 認定対象の年代

認定対象の年代は概ね産業革命以降の工業化がなされた時代以降でかつ 1990 年代以前のものとする。

⑧ 認定後の遺産保存：認定された遺産の保存についてはこれを確実にいき、要望があれば 1 件当たり 10 万円を限度に保存助成金を支給します。

⑨ 認定審査：書類審査及び、必要に応じてヒアリング等を実施致しますのでご協力ください。

⑩ 認定告知：7 月中旬に決定し、JASIS2016 で認定書授与及び展示（実物もしくはパネル展示）を実施します。

認定決定後、認定書授与及び展示等の段取りについては、後日ご連絡致します。

⑪ その他：認定に関しての応募者の費用負担はありません。

以上